

金融市場NOW

貿易収支が大幅改善へ

原油安が追い風

財務省が4月20日に発表した2015年度の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆792億円の赤字となりました。原油安で燃料の輸入額が減ったこと等から、赤字額は2014年度の9兆1,277億円から8兆円超(約88%)減少しました。

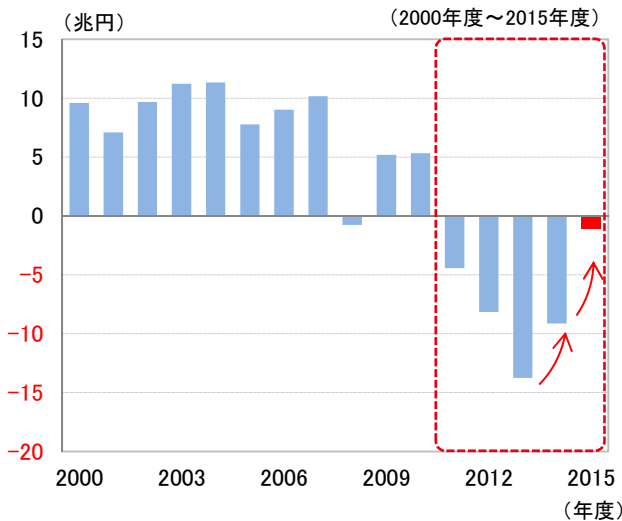
貿易収支の赤字は、東日本大震災の影響があった2011年度以降5年連続です。しかし、過去最大の赤字となった2013年度(13兆7,563億円)からは2年連続で赤字額が縮小し、改善傾向が続いています(図表1)。

また、月次ベースでも2016年2月に貿易黒字に転換したのに続き、3月は黒字幅が7,550億円と前月の約3倍に大きく増加しています。震災後の原発停止の影響で原油などの輸入が増加していたものの、昨今の原油安により収支が改善しています。

対国・地域別の輸出額(前年度比)をみると、自動車の輸出が好調だった対米国は6.2%増加したものの、対アジアは、中国経済の減速等により2.8%減少しています(図表2)。

財務省は、赤字幅の縮小について、「輸出が強かったわけではなく、資源関連の輸入額が大きく減ったことが要因」とみています。

図表1: 貿易収支の推移(年度ベース)



図表2: 国・地域別の貿易収支(2015年度)

(単位: 億円)

	輸出額	輸入額	差引額
米国	150,932 (6.2%)	78,694 (2.3%)	72,238 (10.8%)
EU	81,035 (5.2%)	87,291 (8.0%)	-6,257 (63.2)
アジア	391,976 (-2.8%)	372,699 (-3.4%)	19,277 (11.1%)
中国	130,023 (-3.1%)	190,648 (-0.6%)	-60,625 (5.1%)
中東	30,902 (0.8%)	84,950 (-39.1%)	-54,047 (-50.3%)
総額	741,173 (-0.7%)	751,964 (-10.3%)	-10,792 (-88.2%)

※カッコ内は前年度比増減率

出所: 図表1~2は財務省のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

今後の動向

一時、1バレル30ドルを下回っていた原油(WTI原油先物)価格は、足元40ドルを上回る水準まで上昇しており、今後は貿易収支の改善ペースが鈍る可能性があります。

貿易赤字が再び拡大基調となれば、年初からの円高の動きに変化が生じることも考えられます。